

## 国内経済要録

### ◇債券買入制度の実施

本行は、最近の金融情勢に対処し、金融調整の円滑化を図り、併せて金融調整手段の多様化にも資する見地から、今般、市場相場を基準として債券の買入れを次の要領により行なうこととし、2月11日から実施した。

- (1) 買入先……………銀行、長期信用銀行、外国為替銀行、全国信用金庫連合会ならびに本行と当座預金取引のある相互銀行および証券会社。
- (2) 買入債券の種類……………政府保証付債券(ただし、発行後1年以内のものを除く)。
- (3) 買入時期および金額…買入れの時期およびその金額については、金融情勢、買入先の資金事情等を勘案して定める。
- (4) 買入価格……………買入先に対する買入通知日直前の市場相場を基準として決定する。

### ◇米ドル建輸入ユーザンス金利の引上げ

本邦側甲種外国為替公認銀行は、米国における一流銀行引受手形(BA)レートが2月3日から $\frac{1}{2}\%$ 引き上げられ5%(90日物)となったのに伴い、米ドル建輸入ユーザンス金利を次のとおり、一律、年利 $\frac{1}{2}\%$ 引き上げ、2月7日から実施した。

	一 般 (年利)	サ ー ビ ス (年利)
3か月物 $\frac{1}{2}\%$ つき 輸入ユーザンス金利	7.375%以上	7.125%以上
〃 〃 $\frac{1}{2}$ なし 〃	7.625%以上	7.25%以上
4か月物は3か月物の各 $\frac{1}{2}\%$ 高とする。		

### ◇公社債の市場取引再開

東京証券取引所および大阪証券取引所では、2月7日から、37年4月以来ほぼ4年ぶりに公社債の市場取引を再開した。東京証券取引所の債券売買取引要綱は次のとおり(大阪証券取引所の場合もほぼ同じ)。

#### (1) 上場銘柄

政府保証債、地方債、特殊債、金融債、社債、30銘柄(大阪は25銘柄)。

(注) なお長期国債もいずれは上場される予定。

#### (2) 売買取引方法

取引の種類は、当日決済取引、普通取引(4日目決済)、特約日決済取引の3種類とする。呼値は額面100円の値段とし、5銭刻み。売買単位は国債、加入者および受益者引受け電々債は10万円、その他の債券は100万円とする。値幅制限は前日値の50銭上下。

#### (3) 委託手数料

国債、政保債・地方債、その他の債券の3種類に分け額面100円につき売買数量に応じて10銭から60銭まで。

#### (4) 市場外取引

国債は市場集中を原則とする。市場外取引の値段は市場価格を基準とする。